

令和7年度自己評価結果公表シート

学校法人青英学園 石川こども園

1. 本園の教育目標

- ★ 明るい笑顔と基本的な生活習慣を育む
- ★ 健康で感性豊かなこども
- ★ 自分で考え表現できるこども
- ◇ 基本的な生活習慣と正しい生活態度、(挨拶、言葉遣い、整理整頓、交友関係、お話を聞く態度等) 特にお話を聞く時の態度と理解力の向上を図り、集団生活で必要な協調性を養う。
- ◇ 何事にも集中して粘り強く取り組む姿勢を養い、成し遂げた喜びと満足感が自信になり、そこからさらに積極的に明るい性格に育つように導く。
- ◇ 体育・徳育・知育の総合教育を偏りなく実施し、幼児の未知なる可能性と伸び伸びした豊かな心を育む。

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

- ◇ 教育の資質向上への取り組み
教育課程・指導計画の再確認を行い、全職員間で客観的に自園を見る目を養い施設の改善や、保育の指導案の改善に取り組む。
- ◇ 子どもたちへの理解を深め、保育を通して子どもの成長に気づき、子育ての喜びを保護者の方と一緒に共感しあい信頼関係の構築に努める。
- ◇ 保幼小の連携をさらに進め近隣施設との交流の場を広げ進学しやすい環境を整えていく。
- ◇ 安全管理の意識を深める取り組みを行う。

3. 評価項目の達成及び取組状況

| 評価項目 | 評価 | 取組状況 |
|-------------------|----|--|
| 教職員の資質向上の取り組み | A | <ul style="list-style-type: none">・ 様々な課題にそった研修での学びを会議で報告し合いながら共有し職員全体の資質向上に繋げている。・ 日々の子どもの姿、又は保護者からの意見・要望について、報告・連絡・相談の場を設けて情報を全員が共有する環境を作っている。・ 刻々と変わっていく情勢を敏感にとらえ、必要な知識を職員間で共有していく。 |
| 園児に接する時の基本姿勢を周知徹底 | A | <ul style="list-style-type: none">・ 特に、言葉遣いの適正を意識し、親切かつ丁寧な接し方を再確認の上、常に教職員が手本となり行動で示す。・ 一人ひとりの子どもの長所を認め、教諭が公平かつ客観的に園児を見る目を養うように努める。 |
| 地域交流と | A | <ul style="list-style-type: none">・ 敬老の日を通して、地域の自治会に訪問し、敬老会を行いました。また、勤 |

| | | |
|-------------|---|--|
| 保幼小の連携 | | 労感謝の日の取り組みとして、近隣の消防署、郵便局の見学を行い、地域交流を深めました。 |
| 安全管理の意識を高める | A | <ul style="list-style-type: none"> ・ 災害を想定して作成している緊急時引き渡しカードの使用の仕方を保護者の方と再確認を行い、各家庭での利用方法についても促し周知しました。 ・ 安全点検(園内・保育室・遊具・ヒヤリハット)を実施し改善点を職員に共有している。 |

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

| | |
|------|--|
| 評価 A | <ul style="list-style-type: none"> ・ 職員間で情報共有(報・連・相)を徹底し、子どもたちや保護者へ親切丁寧に接するようにしました。常に教職員が子どもたちへの手本となるように言葉遣いにも意識して保育にあたりました。 ・ 保幼小接続では充実した打ち合わせや振り返りをし、交流会で子どもも楽しみました。 ・ 安全管理の面では緊急引き渡しカードの使用確認することで保護者と災害時の対応確認が出来ました。 |
|------|--|

5. 今後取り組むべき課題

| | |
|------------|--|
| 小学校と連携を図る | <ul style="list-style-type: none"> ・ 訪問する学校が3校なので、見学、交流会などを通して入学への不安解消に努めるとともに、小学校への段差の解消に努める。 ・ 近隣のこども園と連携を取り、交流の場を増やしていく。 |
| 安全管理 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 危機管理マニュアルの見直しを毎年行い、定期的にマニュアルを読み合わせ、緊急フローチャートの役割分担等しっかり把握して意識統一を志します。 ・ これまでのヒヤリハット・事故報告書を振り返る園内研修を実施して、安全面に十分留意しながら保育に取り組みます。 ・ 安全に遊べるように遊具の見直しや、戸外の遊びが充実する工夫をします。 |
| 働きやすい環境づくり | <ul style="list-style-type: none"> ・ 誰もが安心して発信や行動ができる職場づくりの構築をします。 ・ 職員間のコミュニケーションの円滑化をはかります。 ・ 職員一人一人の個性が活かされる職場を目指します。 |